

オッシーさんとのやり取り(1) オッシーさん→KQFF(10/13)

**件名: 「関西クィア映画祭 2014」における《レズビアン差別》の表現につきまして**

はじめまして。オッシーと申します。主にブログ「百鍊ノ鐵」およびツイッター (@herfinalchapter) を通して、メディアにおける性差別表現の検証と批判を行っております。

さて本日、貴サイトを拝見いたしましたところ、レズビアンを差別する内容の記述が存在しました。そちらの公式アカウントに対し、ツイッター上で抗議を差し上げましたが、どうやら BOT のようで、スタッフの方々のお目に留まらないようでしたので、当ブログにまとめ、公開質問状を掲載いたしました。

<http://d.hatena.ne.jp/herfinalchapter/20141013>

誠意あるご回答をお待ちしております。なお公開質問状という性質上、お寄せいただいたご回答は同ブログにて全文公開いたしますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

オッシーさんとのやり取り（2） KQFF→オッシーさん（10/14）

オッシーさん

初めまして。

関西クィア映画祭2014の実行委員会のもとと申します。

当該のブログ、ツイッター拝見しました。ご意見ありがとうございます。

返信が遅くなりましたこと、まずはお詫びいたします。

オッシーさんの指摘に関して、実行委員会で議論し、出来るだけ早い段階で返信いたしたく思います。

[16日夜](#)に実行委員会で検討をしますが、結論に十分に時間をかける必要が考えられるため、そのようになった場合は、映画祭開催以降に返答します。

しばらく私たちに時間をいただけたらありがたく思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

関西クィア映画祭 2014 実行委員会

オッシーさんとのやり取り（3） オッシーさん→KQFF（10/15）

オッシーです。昨日19時頃【とも】とおっしゃる実行委員の方から、Twitterのダイレクト・メール経由で返信をいただきました。そちらからは当方をフォローすることができないため、当方からはDMを送ることができず、再質問はメールで受け付けるとのことでしたので、いくつか質問をお送りさせていただきます。

・当方はTwitter上の貴団体の公式アカウントにも数度に亘ってリプライを送っており、当然そちらの目にも留まっていることと思います。しかし公開の場ではまったく対応せず、なぜ非公開のダイレクト・メールという形でコソコソ送りつけるような真似をなさるのでしょうか？

・問題の差別的な宣言文は、どなたの文責によるものでしょうか？ 独特の文体や語彙、主張の内容を鑑みて、前代表の【ひびのまこと】氏によるものと思われるが、だとすればなぜ氏の名前の記載がないのでしょうか？

・問題の差別的な宣言文は、どなたの承認を得て、どういった経緯を経て公開されたのでしょうか？ 実行委員は25名もの方が名を連ねていらっしゃいますが、その中から批判的な意見はいっさいなかったのでしょうか？

・問題の差別的な宣言文は、「レズビアン」を“クィア差別者”に仕立て上げることで《レズビアン差別》を相対化・正当化する、まさに「レズビアン」に対するヘイトスピーチと言っても過言ではありません。しかるに、それが貴サイト上から撤去されるまでの間は、それを目にした人々が「レズビアン」に対する差別意識を植え付けられることとなりますが、その社会的・道義的責任についてどのようにお考えでしょうか？

・当方の指摘について、本日の夜に実行委員の方々に議論なさるとのことですが、その「結論」は貴サイトに公表なさいますでしょうか？ それとも、今回DMを送ってこられたように内々で済ますおつもりでしょうか？

以上となります。加えて今回、貴団体は「被差別者」「マイノリティ」としてではなく、《レズビアン差別》を煽動・行使する「セクシスト（性差別主義者）」の集団として告発・批判されていますことを、ぜひとも念頭に置かれました上でご回答ください。

なお、お寄せいただいたご回答は引き続き当ブログ「百鍊ノ鐵

(<http://d.hatena.ne.jp/herfinalchapter/>)」にて全文公開いたしますので、くれぐれも発言の内容には責任をもっていただけますよう重ねてお願いを申し上げます。

オッシー

オッシーさんとのやり取り（４） KQFF→オッシーさん（10/17）

お世話になります。

関西クィア映画祭2014実行委員会の斬と申します。

返答にお時間をいただき、ありがとうございます。

オッシーさんの今回のご質問・ご意見を受け、関西クィア映画祭2014実行委員会では、16日20:30ごろから、映画祭準備会場で使用している施設の退館時間の21:30過ぎまで、WEBサイトにある「今年の特徴」の記述と、それに関する「杵をこわしてワクワクする秋」というテーマについて、改めて検討いたしました。結果、「今年の特徴」で表現されている意味と文脈も、「杵をこわしてワクワクする秋」の意味づけも、実行委員間で異なる見解が得られました。このことを伝えることは、実行委員会でひとつの見解に集約してもっともらしい返答をする、ということが、オッシーさんのおっしゃるご質問・ご意見に対して誠実に答えられるものではなく、むしろ、検討された限りをお伝えすることが誠実であると実行委員間で共通して判断されたことによります。ひとつの見解にまとめることこそ実行委員会に課せられた義務であるのかもしれませんが、実行委員会で検討された限りで異なる見解が得られたものの、実行委員間で明らかに共通されたのが、「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」ということです。このことについて、それぞれの実行委員による具体的な理由や、認識の前提を説明する見解をまとめるには、たった1時間の会議では十分ではありませんでした。そのため、今回の返答に引き続き、映画祭期間中、あるいは、映画祭開催後以降の返答をお待ちいただきたいと思います。

限られた時間ながらも、オッシーさんの2通目のご質問のうち、明らかに実行委員間で共有された回答を、以下に記させていただきます。

1・当方はTwitter上の貴団体の公式アカウントにも数度に亘ってリプライを送っており、当然そちらの目にも留まっていることと思います。しかし公開の場ではまったく対応せず、なぜ非公開のダイレクト・メールという形でコソコソ送りつけるような真似をなさるのでしょうか？

【返答】

★オッシーさんへの返答について、関西クィア映画祭2014実行委員会は、迅速な対応をするために、メーリングリストを用いて検討いたしました。申し訳ないことに、映画祭のメール担当者が、メールによる作業が不可能な状態であったため、Twitterの担当者が返信するかたちとなりました。しかし、Twitterの対応者は、リプライとDMの違いや性質について熟知しておらず、オッシーさんによるリプライのご意見の内容について、DMで返答してしまいました。そもそも、オッシーさんへの第一の返答の検討について、実行委員会はオッシーさんへどのようなかたちで返答するのかをきちんと共有されていませんでした。実行委員会で再確認した結果、オッシーさんのおっしゃるように、TwitterのDMによる返答は、非公開で不誠実な態度であったと認識しております。申し訳ありません。今回、メールによる返答をとらせていただいております。Twitterのリプライによる返答では、140字のツイートをいくつも投稿することとなる、というコミュニケーションの特性としてのデメリットがあると認識しております。そして、メール担当者が作業可能な状態となりました。これらのため、メールによる返答を今回よりさせていただきます。

2・問題の差別的な宣言文は、どなたの文責によるものでしょうか？ 独特の文体や語彙、主張の内容を鑑みて、前代表の【ひびのまこと】氏によるものと思われませんが、だとすればなぜ氏の名前の記載がないのでしょうか？

【返答】

★宣言文の文責は実行委員会全体のものとしています。しかし、宣言文が決定したのち実行委員に参加した者もおりますし、宣言文に対して実行委員会の決定に委任した者もおります。なお、今回の実行委員にひびのまこと氏は含まれておりません。

3・問題の差別的な宣言文は、どなたの承認を得て、どういった経緯を経て公開されたのでしょうか？ 実行委員は25名もの方が名を連ねていらっしゃいますが、その中から批判的な意見はいっさいなかったのでしょうか？

【返答】

★宣言文は、実行委員会の承認を得て、今回の関西クィア映画祭2014を広報するため、公開されました。オッシーさんのおっしゃる実行委員は当日スタッフを含んでおり、実行委員はこれまでの増減を含めて、現在実際には10名でございます。今回の「枠をこわしてワクワクする秋」というテーマと、それを説明する文章は、十分な時間をかけて議論されました。結果として、批判的な意見以前に、意見は全て検討されたと認識しております。しかし、冒頭の文章で申しましたように、宣言文決定以降に実行委員となった方や、決定を実行委員会に委任した者もおります。そのため、改めて検討した今、様々な意見が実行委員間で交わされている次第です。

4・問題の差別的な宣言文は、「レズビアン」を“クィア差別者”に仕立て上げることで《レズビアン差別》を相対化・正当化する、まさに「レズビアン」に対するヘイトスピーチと言っても過言ではありません。しかるに、それが貴サイト上から撤去されるまでの間は、それを目にした人々が「レズビアン」に対する差別意識を植え付けられることになりませんが、その社会的・道義的責任についてどのようにお考えでしょうか？

【返答】

★こちらの質問に対して、冒頭の文章で申しましたとおり、実行委員間で共通された「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」ということの、それぞれの実行委員による具体的な理由や、認識の前提を説明する見解をまとめるには、時間を要する状況です。そのため、映画祭期間中、あるいは、映画祭開催後以降の返答とさせていただきたいと思っております。

5・当方の指摘について、本日の夜に実行委員の方々と議論なさるとのことですが、その「結論」は貴サイトに公表なさいますでしょうか？ それとも、今回DMを送ってこられたように内々で済ますおつもりでしょうか？

【返答】

★オッシーさんへ申しましたとおり、実行委員会で議論をおこないました。先ほどの4つめの質問に対する返答のとおり、未だに結論は出ないという状況ではありますが、まとまり次第、オッシーさんへメールにてご連絡いたしますとともに、映画祭のWEBサイトに公開いたします。前回、および、今回、今後の関西クィア映画祭2014実行委員会の全ての媒体における返答は、オッシーさんに限らず、どなたによっても、どのように公開していただいてもかまいません。

映画祭開催期間中に、会場にて、オッシーさんと関西クィア映画祭2014実行委員会による、TwitterのDMを含めたやりとりを、紙面にて公開いたします。

引き続きお手間をとらせて恐縮ではございますが、映画祭期間中、あるいは、映画祭開催後以降の返答をお待ちくださいませ。よろしくお願いいたします。

また、関西クィア映画祭2014は、10月17日（金）本日から19日（日）までの3日間、大阪のとよなか男女共同参画推進センターすてっぷにて開催いたしますので、ぜひご来場ください。



関西クィア映画祭2014実行委員会（文責：斬）

オッシーさんとのやり取り(5) オッシーさん→KQFF(10/17)

オッシーです。饒舌なお答えだとは思いますが、残念ながら本件の本質的な部分の答えにはまったくなっておりませんので、重ねてご質問いたします。

・あなた(斬さん)は「関西クィア映画祭」実行委員会において、どのような立場にあるお方でしょうか？ サイトを確認してもよくわからないのですが、ひびのまこと氏に代わる代表者はどなたになるのでしょうか？

・繰り返しになりますが、「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」ということであれば、なぜ「わたしはレズビアンだ」ということが「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの明確な性差別思想と同列に置かれているのでしょうか？

・また『公開質問状(1)』でも述べたことですが、「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの明確な性差別思想を並べ立てた文脈において、なぜ、数ある人間の性のありようの中でも、特に「レズビアン」だけを例示として引き合いに出したのでしょうか？

・そして《「今年の特徴」で表現されている意味と文脈も、「粹をこわしてワクワクする秋」の意味づけも、実行委員間で異なる見解が得られ》たということであれば、いったんは問題の宣言文をサイト上から削除(パンフレット等にも掲載されているのであればそれらも回収)するべきではありませんか？

・「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」としても、「レズビアン」のアイデンティティを「粹」と規定した上で、それを「こわしてみよう」と要求(仮にそれが期待や提案といった“ゆるい”形であっても)することは、早い話がレズビアン当事者に対して「レズビアンをやめろ」、あるいは“現時点で”レズビアンをやめないまでも「将来的には、男性ないし非女性を愛する可能性に開かれるべきである」と干渉する行為ではありませんか？

そしてそのような行為がレズビアンに対する「パターナリズム」であり「ヘイトスピーチ」であるという認識はありますか？

・問題の差別的な宣言文を書かれた人物は、当方からの指摘についてどのように捉えているのでしょうか？ また当方からの指摘を受けた上で、本人としては、なおも撤回する意思はないのでしょうか？

・「わたしはレズビアンだ」との文言が「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの差別的言辞と同列に扱われているのを見て、他ならぬ【あなた(斬さん)】ご自身は、どのように感じられましたか？

・「関西クィア映画祭」は、「LGBT」を「クィア」と敵対する、あるいは「クィア運動」を妨げる存在として認識しているということでしょうか？

・問題の差別的な宣言文の執筆者は、LGBTを「クィア」と敵対する、あるいは「クィア運動」を妨げる存在として認識している(少なくとも宣言文の執筆者個人はそのように認識している)ということでしょうか？

・映画祭開催期間を過ぎた後に、宣言文を撤回ないし修正したところで、誰も読まないと思います。その上で、レズビアン当事者、および宣言文を通して「レズビアン」への差別意識を植え付けられた人々に対しての社会的・道義的責任を、貴団体はどのように取るおつもりでしょうか？

・「関西クィア映画祭」は、宣言文で述べられている「クィア理論」の政治的イデオロギーを“啓蒙”することを目的としているのでしょうか？

・それにあたって「クィア理論」の政治的イデオロギーを裏打ちする作品を意図的にセレクトしているということでしょうか？

「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」にも関わらず、問題の差別的な宣言文について《十分な時間をかけて議論され》《批判的な意見以前に、意見は全て検討された》上で、なおもあのような《レズビアン差別》を煽動・助長する「ヘイトスピーチ」を見過ごしてしまったということは、どのように言い繕うとも、あなたたちに「レズビアン」に対する無自覚の差別意識と偏見があるということです。

「そのような意図はなかった」というのは、まさに差別主義者の典型的な“言い訳にならない言い訳”でしかないことを認識してください。

なお今回、貴団体に対する抗議活動を展開するにあたって、関西のゲイリブ関係者にも相談しましたが、そこで得られた回答は「あの人たち(貴団体)に今残っているのはひびのさんに心酔する信者ばかりで、都合の悪い意見を述べる者に対しては集団で攻撃してくる。おまけに学者が後ろ盾になっているので、異論を唱える者を無知と決めつけて聞く耳すらもたない。疲弊するだけなので、対話を試みるだけ時間の無駄である」とのことでした。

ひびのまこと氏に対する評価は別として、少なくともあなた(斬さん)に関しては、そうした先鋭的な“信者”ではないとお見受けしますし、こちらの不躰な物言いにも関わらず、誠実に対応してくださっている印象を受けます。

ただ、やはり《レズビアン差別》を他人事として捉えているかのような物言いが気になります。

「セクマイ」「LGBT」「クィア」などと一口に言いましても、それぞれの属性によって、置かれている社会的・政治的状况は様々です。「レズビアン」には「レズビアン」の、「バイセクシュアル」には「バイセクシュアル」の、それぞれに直面している問題がありますから《人は皆バイセクシュアル》《愛に性別は関係ない》《「性別」ではなく「人間」を愛するのだ》などと片づけて済む問題ではありません。

性別を“前提としない”——“囚われない”のではなく——セクシュアリティを有する人々に対する社会的保障が必要であることは論を俟ちません。しかしクィア理論およびクィア運動は、その「目的」を実現するにあたっての「手段」の一つにすぎず、「目的」があらゆる「手段」を正当化することはありません。

まして《性別を“前提としない”セクシュアリティ》を選択したからといって、《性別を前提としたセクシュアリティ》をもつ人々を、自分たちよりも「劣った存在」と決めつけ、“差蔑”していいということには、まったくなりません。

当方とのやりとりを紙面に公開なさるということですが、ぜひとも貴サイト上にも掲載していただきたく存じます。加えて、できましたら当ブログの記事『「関西クィア映画祭 2014」シンパからの反応(※問題の差別的な宣言文への支持を表明した @lolonzlol 氏との議論)』も、宣言文の差別性を浮き彫りにするための「実例」としてじつに有意義であるため、併せて公開・掲載して下さるとありがたく存じます(ただし氏のアカウント名は伏せたほうがよろしいかもしれません)。

『「関西クィア映画祭 2014」シンパからの反応』

<http://d.hatena.ne.jp/herfinalchapter/20141015/p2>

また、せっかくのお誘いをいただきましたが、当方は関東住まいであるため、お伺いすることができません。よろしくお願いいたします。

オッシー

オッシーさんとのやり取り（6） KQFF→オッシーさん（10/22）

オッシーさん

お世話になります。関西クィア映画祭 2014 実行委員会の斬です。

申し訳ないことに、映画祭開催期間中である 17 日朝と夜、18 日朝と夜のそれぞれの時点で実行委員間で確認したところ、実行委員会による検討のための時間がとれないと判断されておりました。

返答に何度もお時間を頂戴し、恐縮でございます。

そして、たびたびのご丁寧なご質問・ご意見、まことにありがとうございます。

前回の返信では、斬が文責として担当いたしました。今回の実行委員会で検討した結果では、斬が主に文章作成しつつも、ほとんどの部分を実行委員会で文章を作成したため、関西クィア映画祭 2014 実行委員会の文責とさせていただきます。

10 月 20 日に臨時実行委員会を開き、14 時から 23 時の間に、オッシーさんからのご質問・ご意見について検討いたしました。

まず、前回のこちらからの返信で申しましたとおり、「私はレズビアンだ」という文章に対する意味について以下の通り、実行委員それぞれの意味を申し上げます。

「私はレズビアンだ」に対しての意味

・「私はレズビアンだからよくない」といったネガティブイメージを持ったスティグマに対して、自分を責めなくてよい、レズビアンであることに自信を持っていいと思う、といったメッセージを含めている。

・「私はレズビアンだ」という部分は、他の 4 つと含めて、枠の例としてあげている。

・セクシュアルマイノリティの人々が見たときに、あるひとつの主張として、広く認知されてる例として選んだ。レズビアンだということをオープンにしているとか、政治的にこういう人もいるという、社会に向けてのメッセージになると考えた。「私はレズビアンだ」と考えている人が、他者に対してそれを押し付けるように差別をすることも考えた。

・私の中の「レズビアンだ」という枠をこわすという意味をこめてる。誰かがレズビアンだと私に対して言うてくるならこわしたいといった文章だったら分かりやすかったかもしれない。挙げられた例は、社会状況把握のため。つらいと思う、大変だと思うことが、入っていればいいと思った。それらを可視化できればいいと思い、「私はレズビアンだ」はそ

の中のひとつである。不可視化させたくないこととして取り上げた。

・シスヘテロが、「私は異性愛者だ」、「おいら、ヘテロです」といちいちいうの聞いたことありますか？（私は）皆無！ そんな状況の中で、なんで同性愛者もしくはバイが、「私はビアンだ」とプライバシーを表明するのか。不公平ではないか！？ 言わなくても当たり前の社会になって欲しいという願いから、「私はビアンだ」と一方が表明しなければならぬという枠がこわれればいいと考えます。

・レズビアンアイデンティティやレズビアンプライドを持って、社会にアピールし、自分を肯定することは非常に大事なことだと思う。でも、それが重要で必要な場合や人もいるけど、それについて、本当はどういうことだろうかということを取り返したい人もいるんじゃないかと考えた。あるいは、レズビアンだということで、レズビアンらしくならないといけないのだろうかという悩みも考え続けたいというメッセージを含めていた。

・再検討から「今年の特徴」の文章を検討し、「私はレズビアンだ」という表現は差別的なので修正すべきと考えた。しかし、さらに検討を続けた結果、その文章に含められた重要な意味づけを踏まえ、「私はレズビアンだ」という表現を載せるべきだと考えた。

これらの意見があったため、時間を要すこととなりました。

次に、1通目にいただいたメールによるブログ記事の質問へのお答えと、2通目にいただいたメールにある質問のうち、答えられていなかった項目へのお答えと、3通目にいただいたメールの質問へのお答えを述べさせていただきます。

まずは、1通目のメールによる、ブログ記事より、質問にお答えいたします。

1-1. なぜ「わたしはレズビアンだ」ということが「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの明確な性差別思想と同列に置かれているのでしょうか？

【返答】★これらの枠の例は、関西クィア映画祭2014実行委員会では、否定的とも肯定的とも表明しておりません。したがって、どの枠も、性差別思想としての意味づけ、否定的な枠としての意味づけはありません。性差別思想になる文言になるのは、他者へ押しつけ

た場合になると考えます。そして、実行委員会では、これらの枠の例を押しつけてはいません。例えば、「世の中には男と女しかいない」という考え方を、他の人に押し付けたら、それは性差別的な思想になりうるかもしれませんが、ある人が「世の中には男と女しかいない」という考え方によって自己を肯定することは、他者が咎めることではありません。これは、他の枠の例についても当てはまります。ある人がある特定の視点を持つことは、その人の自由です。

言葉や枠の価値判断は、使う人の文脈に依存すると考えます。私たちは、先述の通り、「今年の特徴」の第一段落で、価値判断を伴わない形で、枠の例示をしました。

1-2. むしろあなたたちこそ「多様性」などと耳当たりの良いことを言いながら「世の中には男と女しかいない」などの性差別思想を追認し、その一方でレズビアンの方の生き方を、クィア理論のイデオロギーに都合の良い「枠」に当てはめているのではありませんか？

【返答】★確かに、実行委員会では「多様性」という言葉を用いております。オッシーさんのおっしゃる「追認」という言葉が「実行委員会は性差別思想であると認識している」という意味でしたら、そのようではありません。実行委員会では「世の中には男と女しかいない」などのこれらの枠が存在しているということのみを認識し、例として挙げています。

オッシーさんがおっしゃるクィア理論がどのような意味で扱われているか分かりかねますが、私たちの趣旨は規約 (<http://kansai-qff.org/files/bylaw20140420.pdf>) に記載している通りです。実行委員会では、クィア理論を明示的に扱っている認識はありません。したがって、レズビアンの方の生き方を、クィア理論のイデオロギーに都合の良い「枠」に当てはめてはいません。

1-3. なぜ「レズビアン」なのでしょう？

【返答】★草案執筆時、執筆者かつ実行委員だった、とみー（10/21に実行委員を辞めました）は、以下のように述べています。”10代の頃、レズビアン認知で悩んだ経験があり、一回「私はレズビアンだ」と引き受けたこともあるけれども、拒否したこともありました。その枠によって人との関わり方や、自分の存在が不安定になって、しんどくなった経験がありました”という思いから、この草案がかかれました。

「今年の特徴」の文章作成時は、実行委員会では異論がありませんでした。そして今回、再検討した結果、「レズビアン」のままでよい、という意見とまとまりました。



次に、2通目にいただいたメールにある質問のうち、答えられていなかった項目へのお答えをいたします。

2-1・問題の差別的な宣言文は、「レズビアン」を“クィア差別者”に仕立て上げることで《レズビアン差別》を相対化・正当化する、まさに「レズビアン」に対するヘイトスピーチと言っても過言ではありません。しかるに、それが貴サイト上から撤去されるまでの間は、それを目にした人々が「レズビアン」に対する差別意識を植え付けられることとなりますが、その社会的・道義的責任についてどのようにお考えでしょうか？

【返答】★前述の回答を踏まえ、「今年の特徴」では「レズビアン」を“クィア差別者”に仕立て上げていませんし、ヘイトスピーチではありません。

次に、3通目にいただいたメールの質問へのお答えを述べさせていただきます。

3-1・あなた（斬さん）は「関西クィア映画祭」実行委員会において、どのような立場にあるお方でしょうか？ サイトを確認してもよくわからないのですが、今期映画祭の代表者はどなたになるのでしょうか？

【返答】★斬です。私は実行委員として参加しており、パンフレットのレイアウトとデザイン作成、当日は、クィア・スペースとクィアトイレの装飾を主に担当しておりました。今年度の実行委員会には、代表者はおりません。

3-2・繰り返しになりますが、「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」ということであれば、なぜ「わたしはレズビアンだ」ということが「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの明確な性差別思想と同列に置かれているのでしょうか？

【返答】★先の返答（1-1）をお答えとさせていただきます。

3-3・そしてこれも繰り返しとなりますが、「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの明確な性差別思想を並べ立てた文脈において、なぜ、数ある人間の性のありようの

中でも、特に「レズビアン」だけを例示として引き合いに出したのでしょうか？

【返答】★先の返答（1－3）をお答えとさせていただきます。

3－4・《「今年の特徴」で表現されている意味と文脈も、「粹をこわしてワクワクする秋」の意味づけも、実行委員間で異なる見解が得られ》たということであれば、いったんは問題の宣言文をサイト上から削除（パンフレット等にも掲載されているのであればそれらも回収）するべきではありませんか？

【返答】★10月16日の臨時実行委員会においては、「今年の特徴」を撤回すべきかどうかは議論されておりませんでした。また、今回(10月20日)実行委員会による検討では、差別表現ではないと判断されたため、撤回も回収もいたしません。

3－5・「レズビアンを名乗る人々に対して批判をする意図がない」としても、「レズビアン」のアイデンティティを「粹」と規定した上で、それを「こわしてみよう」と要求（仮にそれが期待や提案といった“ゆるい”形であっても）することは、早い話がレズビアン当事者に対して「レズビアンをやめろ」、あるいは“現時点で”レズビアンをやめないまでも「将来的には、男性ないし非女性を愛する可能性に開かれるべきである」と干渉する行為ではありませんか？

そしてそのような行為が、レズビアンに対する「パターナリズム」であり「ヘイトスピーチ」であるという認識はありますか？

【返答】★提案することは干渉することではないと実行委員会では認識しております。提案であるため、その案を棄却する自由があります。したがって、「レズビアンをやめろ」「将来的には、男性ないし非女性を愛する可能性に開かれるべきである」と干渉する行為ではありません。

提案であるため、パターナリズムでもなく、ヘイトスピーチでもありません。オッシーさんがおっしゃるように、『批判されるべきは、他人を望まない「粹」に当てはめる行為であり、自分で自分のセクシュアリティやアイデンティティを規定すること自体は何一つ責められるべきではないはずです。ましてや「粹」を“こわす”べきだなどと、あなたたちに指図をされる筋合いもありません。』という意見の通りだと思います。

3－6・問題の差別的な宣言文を書かれた人物は、当方からの指摘についてどのように捉

えているのでしょうか？ また当方からの指摘を受けた上で、当人としては、なおも撤回する意思はないのでしょうか？

【返答】★草案を書いた者はおりますが、何度も実行委員会で検討され、文責は実行委員会全体のものとなっております。検討を重ねる中で、草案からの変更点もございます。実行委員会全体で検討した結果、撤回する意思はございません。

3-7・「わたしはレズビアンだ」との文言が、「世の中には男と女しかいない」「男は性欲をコントロールできない」「性を売るなんてよくない」「愛する人は1人にしぼるべきだ」などの差別的言辭と同列に扱われているのを見て、他ならぬ【あなた（斬さん）】ご自身は、どのように感じられましたか？

【返答】★斬です。私はこれらの文章の決定については、実行委員会に委任した状態でした。今回のオッシーさんからのご質問・ご意見についての、実行委員会の検討には参加しております。そこでは(10月16日)、本件の「私はレズビアンだ」という文章の並び方が差別的な表現であると、私は実行委員会内で意見いたしました。しかし、検討する中で(10月20日)、文章に対する偏った読み方を私自身がおこなっていると認識しました。「私はレズビアンだ」という表現は、何もレズビアンに誇りを持ってアイデンティファイしそのように名乗る人々に対して、批判しようとした文章ではなく、むしろ、レズビアンらしさが求められてしまっているような、レズビアンとは名乗らないながらも女性が性的指向であり、女性として生きよう／生きてきた／生きざるをえなかった人々が、解放されるための文言だと認識しました。ただし、このような認識は、実行委員間では異なっており、私独自の認識です。

3-8・「関西クィア映画祭」は、「LGBT」を「クィア」と敵対する、あるいは「クィア運動」を妨げる存在として認識しているということでしょうか？

【返答】★実行委員会では、「LGBT」を、「クィア」と敵対する、あるいは「クィア運動」を妨げる存在として認識していません。規約の趣旨をご参照ください。  
(<http://kansai-qff.org/files/bylaw20140420.pdf>)

3-9・問題の差別的な宣言文の執筆者は、「LGBT」を「クィア」と敵対する、あるいは「クィア運動」を妨げる存在として認識しているということでしょうか？

【返答】★草案執筆者のとみーは、「LGBT」と「クィア」が敵対するとも、「LGBT」が「クィア運動」を妨げる存在だとも認識しておりません。ただ、とみーは以下のように考えます。“「LGBT」という表記は、4つのカテゴリーのみが前面に出ているために、その他の存在の不可視化や、人と人の分離につながりうる。そのため、私は、「LGBT」も含む、他者とつながるための、自分の性のあり方に向き合うための、「クィア」を大切にしています”

3-10・映画祭開催期間を過ぎた後に、宣言文を撤回ないし修正したところで、誰も読まないと思います。その上で、レズビアン当事者、および宣言文を通して「レズビアン」への差別意識を植え付けられた人々に対しての社会的・道義的責任を、貴団体はどのように取るおつもりでしょうか？

【返答】★撤回することも修正することも、前回の返答の時点では何も申ししておりませんし、今回の実行委員会で検討した結果でも、撤回いたしません。社会的・同義的責任についても、これまでの質問の回答をご覧ください。

3-11・「関西クィア映画祭」は、宣言文で述べられている「クィア理論」の政治的イデオロギーを“啓蒙”することを目的としているのでしょうか？

【返答】★1 通目の返答（1-2）をご覧ください。「関西クィア映画祭」は、「今年の特徴」に関して、誰かの「クィア理論」に依拠しているわけではなく、会の規約の範囲内で、今回のように返答させていただいております。そして、「政治的イデオロギー」と言われるような対立構造を、この「今年の特徴」において、書いているわけではありません。ですので、オッシーさんがおっしゃっている意味で“啓蒙”をしているわけではありません。

3-12・それにあたって「クィア理論」の政治的イデオロギーを裏打ちする作品を意図的にセレクトしているということでしょうか？

【返答】★関西クィア映画祭 2014 実行委員会は、『「クィア理論」の政治的イデオロギーを裏打ちする作品』選んでおりません。引き続き、1 通目の返答（1-2）をご覧ください。

以上、オッシーさんからいただいたご質問・ご意見についてお答えいたしました。

関西クィア映画祭 2014 の立ち位置を振り返る貴重な機会をいただき、ありがとうございます。  
しました。

関西クィア映画祭 2014 は、10月17日から19日にかけて、総来場者数 832 名と、大盛況のうちに終了いたしました。

なお、11月15日（土）に、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ・鴨川にて、14時より、アフター企画「3（スリー）」上映会を開催いたしますので、よろしければぜひご来場ください。入場料は無料でございます。

今後ともよろしく願いいたします。

関西クィア映画祭 2014 実行委員会